

令和 6 年度鈴鹿市健康づくり推進協議会 議事録（概要）

日 時 令和 6 年 1 2 月 1 9 日（木） 1 4 時～ 1 5 時

場 所 鈴鹿市保健センター 2 階 すこやかホール

出席者 1 6 人／ 1 9 人

委員：木村 英夫、池上 茂樹、山路 由実子、村山 真弓、荒木 朋浩、元橋 庸好、
若生 美樹、村田 恵、五十嵐 博、曾我 正彦、杉本 直哉、田中 睦子、
亀井 秀樹、伊藤 壽一、井上 美津子、樋口 侑佳

事務局：健康福祉部長、保険年金課長、スポーツ課長、子ども保健課長、地域医療推進課長、
地域医療推進課保健予防 G L、地域医療推進課地域医療政策 G L、
地域医療推進課成人保健 G L

傍聴者 なし

会議概要

1 開会

○資料確認

2 委員の紹介

○委員自己紹介

○会議成立の報告

○会議の公開について

3 あいさつ

○木村会長あいさつ

4 協議事項

（1）第 2 期鈴鹿市健康づくり計画と鈴鹿市自殺対策計画の令和 5 年度の実施状況及び総括について

○資料 1、2 説明

- ・ 資料 1：第 2 期鈴鹿市健康づくり計画実施状況
- ・ 資料 2：鈴鹿市自殺対策計画実施状況

【質疑応答】

- | | |
|----|--|
| 委員 | ・健康づくり計画と自殺対策計画ともに、男性の健康づくりに課題がある。男性の参加を推進する保健活動について考えてはどうか。
・自殺対策について、社会の動きを踏まえて事業を行うべきと考える。 |
| 議長 | ・保健活動への男性の参加を推進することに意義はあると考える。 |
| 委員 | ・「老人クラブ連合会・単位老人クラブへの運営支援」について、補助金の見直しをお願いしたい。 |

- 議長
- ・ 2018 年の計画値から回復していない事業があるが、これはコロナウイルスの影響と考えてよいか。
 - ・ コロナウイルスの影響で数値が落ちたのか、計画値自体に問題があったのかは精査する必要がある。
 - ・ 次期計画について、コロナ禍の影響等も踏まえた達成目標を定めるべきと考える。
- 事務局
- ・ 達成値について、外出制限の影響はある。
 - ・ 計画策定に際して、市民アンケートから現状を踏まえ、計画値を出している。
 - ・ 次期計画の目標値は、コロナ禍前を想定している。
- 委員
- ・ 健診について、活動的な人にも未受診が多い。今まで通りではないアプローチも考えて欲しい。
 - ・ 周知の度合いに地域格差があるため、そこについても一考いただきたい。
 - ・ 増加している不登校児の問題に際して、「放課後子ども教室・土曜体験学習運営事業」等時代に合った学習形態を模索する必要があると考える。
- 事務局
- ・ 受診率向上のため、各公民館への講座や回覧を行っている。
 - ・ 地域包括支援センター等の地域に密着した施設とも一層の協力をしていきたい。
 - ・ 包括協定を結んだ企業にも依頼し、健診の受診勧告をしている。
 - ・ 個人に届く方法をさらに考えていきたい。
 - ・ 放課後子ども教室について、「子ども・子育て支援計画」で議論を深めている。
 - ・ 学校だけでは補えない部分に関して、地域でも学べるよう複数の部署を跨いで事業を行っている。
- 委員
- ・ 健康で過ごせる時間が長いほど、医療にかかる回数を減らすことができると考える。
 - ・ 医療に掛かる費用の削減の観点からも、年齢性別を問わず参加しやすい保健事業を考える必要がある。
 - ・ どのような事業が良いかはこういった会議で意見を募っても良いのではないかと考える。
- 議長
- ・ 罹る病気を減らすためにも、健康事業の推進は必要だと考える。
 - ・ 健診の受診率向上はキーポイントだと思うので頑張っていたきたい。

5 その他

○健康福祉部長あいさつ

6 閉会

以上